

選定に必要な資料

(種目名 公民的分野)

No.1

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
A 東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判を採用しており, 見開きページの図表, 写真等の多くの資料が掲載されている。複数の資料をもとに社会的事象について考えられるように工夫されている。(p8-9等) ・ 章ごとに色使いが変えてあり, 学習内容を生徒が把握しやすいようになっている。 ・ 予備を含め, 配当時間は100時間である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 分野関連マークを付し, 地理・歴史的分野の学習内容との関わりに配慮されている。(p42) ・ 見開きページの最初に, 「学習課題」を示し, 見通しを持って学習できるようにし, 1時間の最後には学習課題に関しての振り返りができるような構成になっている。(p8-9) ・ 持続可能な社会のための教育などの今日的課題を学習するために適した構成となっている。(p178) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の初めに, 小学校の学習内容と関連づけた資料やイラストを豊富に使った導入のページを設定し, 単元の学習に興味・関心が持てるように工夫されている。(p168) ・ 「公民にアクセス」では, 現代社会の課題となる事象を多く取り上げ, 学習内容と関連付ける工夫がされている。(p15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本の領土問題として竹島問題を取り上げて, その経緯を示すとともに「日本固有の領土」「韓国の不法占拠」「国際司法裁判所への付託」等について記述されている。(p171, 195-197) ・ 遷宮を行った出雲大社(表紙裏面), 島根の子育て支援や石見银山遺跡の保存活動が資料として取り上げられている。特に, 石見银山遺跡に関しては, 伝統文化を継承しようとする小・中学生の取組が紹介されている。(p15, 22-23) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公民にチャレンジ」のコーナーが20か所あり, 個人やグループで行う作業や活動等によって, 本文の学習を深めるために効果的な指導ができるように工夫されている。(p49, 63) ・ 「調査の達人」のコーナーが3か所あり, 調査方法や考察を深める方法等の技能を身につけるように工夫されている。(p208) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 多数のマークや登場人物のイラストを配置し, 具体的なイメージを持ちやすいように工夫されている。(p10-11) ・ 巻末に「参考法令集」「用語解説」を掲載し, 重要法令や重要語句を補完している。(p241) ・ 資料にDマークをつけ, ウェブページが自由に活用できるようになっている。(p18) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の最後に「基礎・基本のまとめ」のページを設定し, 基本的な事項が確実に定着できるように工夫されている。(p32) ・ 各時間の振り返りとして, 学習内容を自分の言葉でまとめる言語活動や個人やグループでの活動を設定し, 生徒の思考力・判断力・表現力を高めるように工夫されている点が特に優れている。(p9)
G 教育出版	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判を採用しており, 図表や写真が見やすく, 大きく掲載されている。複数の資料によって, 社会的事象に関する理解が深まるように工夫されている。(p14-15) ・ 本文と図版との関係がわかりやすいように「図番号」が付されている。(p14) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一単位時間の学習内容が見開き2ページに収められており, 特設ページを加えて弾力的な運用ができるようになっている。 ・ 見開きページの最初に学習課題を示し, 最後に振り返りができる構成になっている。(p14-15) ・ ディベートなどの活動の手順が明確に示されている。(p58) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「公民の窓」が19コラム, 「クリップ」が11コラムあり, 公民的分野の学習に興味・関心が持てるように工夫されている。(p17) ・ 各章の扉ページに社会と関わる中学生のさまざまな活動場面の写真を掲載し, 身近な生活とつなげて学習内容がイメージできるように工夫されている。(p11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島問題を取り上げて「日本固有の領土」, 「韓国の不法占拠」, 「国際司法裁判所への付託」等が記述されている。(p181) ・ 大田市の中村ブレイスを取り上げられている。(p155) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 終章には, 持続可能性を妨げる今日的課題とその解決について探求できるように工夫されている。(p208-214) ・ 巻頭に「公民の学習を始めるにあたって」があり, 公民の学習の意義や学び方等が示されている。(p巻頭3-4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「言葉の解説」が付いた日本国憲法や諸法令集, 「用語解説」が学習資料として掲載されている。(p216-239, 240-243) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読んで深く考えよう」を設定し, 時事的なテーマや地域の事例等から, 資料を読み深めることができるように配慮されている。(p50-51) ・ 各章の冒頭に「はじめに」のページ, 各章末に「学習のまとめと表現」が設定されている。(p12-13, 32)

選定に必要な資料

(種目名 公民的分野)

No.2

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
I 清水書院	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判を採用し, 図表や写真が精選され, 本文と色分けして区別しやすいように工夫されている。(p14-15) ・ 一単位時間の学習内容が見開き2ページに収められ, 配当時間は予備を含めて100時間である。(p28-29) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 見開きページの学習目標が示され, 一単位時間の授業で学ぶ内容の見通しと課題意識をもって学習に取り組めるように配慮されている。(p26-27) ・ 巻頭の世界地図, 「世界の中学生」, 巻末の「日本の無形文化遺産」, 戦後の年表は地理的分野及び歴史的分野との関連に配慮されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「深める公民」の, 11コラムで学習に関連した内容を掘り下げて解説することにより生徒の思考を深める工夫がされている。(p32) ・ 「もっと知りたい公民」のページでは, 学習に関連するテーマを図版や写真を中心に解説し, 興味・関心を引き出すように配慮されている。(p12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島問題について, 「日本固有の領土」「韓国の不法占拠」「日本は, 国際法にのっとり平和的な解決を求めている」等と記述されている。(p163) ・ 衆議院選挙の図に, 島根県, ブロック定数が示されている。(p65) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に「学習のはじめに」を設定し, 公民の学習の意味や学び方等が説明されている。(p2-3) ・ 「深める公民」の, 11コラムで, 憲法改正などの重要課題を取り上げ, 学習に関連するテーマについて掘り下げて解説されている。(p32-33) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「言葉の解説」が付いた日本国憲法や諸法令集が学習資料として掲載されている。(p189-220) ・ ヘイトスピーチやブラック企業等近年話題になった事例が取り上げられている。(p43, 146) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本文で触れられている内容についてふき出しを使った「補足説明」を取り入れ, さらに各編の最後に「学習をふりかえろう」のページを配置し, 基本的な内容の定着が図れるように工夫されている。](p41, 24) ・ 各編の冒頭で, 環境や世界平和に貢献している人物について紹介されている。(p25)
K 帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判を採用しており, 生徒が読んで理解しやすい文章で, それを補足する図解が豊富に掲載されている。(p12-16) ・ 一単位時間の学習内容が見開き2ページに収められ, 配当時間は予備を含めて100時間である。(p I - II) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一単位時間の学習が「見通し→本文→ふり返し」という展開で構成されている。(p4-5) ・ 巻頭に, 「世界で活躍する日本人」の写真が掲載されている。(巻頭表紙裏) ・ 側注欄に, 「地理・歴史をふりかえる」コーナーが7か所設けられている。(p6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各部の初めに, 「学習の前に」を設定し, 大きなイラストや資料から読み取り作業を行うことで, 生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。(p2-3) ・ 各時間の初めに, 導入コラム「クローズアップ」を設定し, 事例を通して生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。(p12-13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島問題について, 「日本固有の領土」, 「韓国の不法占拠」等と記述されている。側注欄には, 編入の経緯とサンフランシスコ平和条約について記述されている。(p168-169) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「トライアル公民」や「Yes No」コーナーなど社会が直面する課題や問題点に関して, 意見をまとめたり話し合ったりする場面を多く設定し, 学習内容をさらに深めるように工夫されている。(p26-27, 53) ・ 巻頭に, 「この教科書の学習の仕方」が示され, 自学自習がしやすいように配慮されている。(p巻3) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「持続可能な社会」に向けて各地域の取組を紹介するページで東日本大震災後の「防災とまちづくり」を取り上げている。(p98) ・ 「技能をみがく」コーナーを7か所設定し, 習得した知識や技能を活用できるように配慮されている。(p26) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各単位時間の導入時に活用できる「クローズアップ」では, 最近の具体的事例を提示している。(p32, 42) ・ 本文のページ側注欄に適宜「第5部のテーマ例」を記載し, さらに「学習をふりかえろう」には, 小レポート作成の作業を設定して第5部のレポートの作成につながるように工夫されている。(p5, 28)

選定に必要な資料

(種目名 公民的分野)

No.3

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
○ 日本 文 教 出 版	<ul style="list-style-type: none"> ・ A B判を採用しており, 図表や写真等の資料を多く掲載し, 「図版番号」を付すことによって, 本文との関連が図られている。(p4-5) ・ 一単位時間の学習内容が見開き2ページに収められ, 配当時間は予備を含めて100時間である。(p巻頭8-9) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各見開きページで, 「学習課題」に対して「学習の確認と活用」を設定し, 自分の考えを説明する問いかけが示されている。(p4-5) ・ 各見開きページの学習内容の理解を支援するために, 多数のコラムやコーナー(「公民+α」)が掲載されている。(p15, 17) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各編冒頭の「ナビ」は, 作業を通して各編の理解に重要な概念を学び, 学習への興味・関心を高めるように工夫されている。(p2-3) ・ 「情報スキルアップ」「アクティビティ」「明日に向かって」等により, 作業活動を通して学習への理解が深まり, 社会科学学習に必要な知識や技能を学べるように配慮されている。(p5, 12) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島問題について, 「日本固有の領土」「韓国の不法占拠」「サンフランシスコ平和条約で確認されている」と記述されている。側注欄には「国際司法裁判所に訴えて平和的に解決すること」と記述されている。(p179) ・ 「受けつぎ, 創造する日本の文化」では, 大田市の石見神楽に取り組む中学生を資料として取り上げている。(p19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章末の「チャレンジ公民」により, 具体的な社会の課題を, 「対立と合意」「効率と公正」を踏まえて考えるように工夫されている。(p72-73) ・ 終章に, 「レポート作成の手引き」を掲載し, 現代社会の課題に対しレポートを作成する活動を通して, 思考力や自ら学ぶ力が身につくように配慮されている。(p206-216) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に, 世界地図と現代史年表を掲載し, 地理・歴史的分野の知識を公民的分野の学習に参照できるように配慮している。(p巻頭4-7) ・ 巻末には, 「用語解説」や「類似用語集」を設け, 難しい用語や類似語の違いを解説している。(p242-245) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「人権・平和」「環境・エネルギー」「防災・減災」「将来の社会」の4つの観点に基づき, 多数の資料を掲載し, 持続可能な社会を考える手がかりが提示されている。(p11, 15, 71, 195-196)
Q 自 由 社	<ul style="list-style-type: none"> ・ B 5判を採用し, 図版や写真などの資料が精選されており, 本文も簡潔にまとめられている。 ・ 一単位時間の学習内容が見開き2ページに収められ, 65単元で構成されている。(p巻頭v-vi) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各見開きページで, 初めに学習のきっかけや学習目標を示し, 終了後には, 「ここがポイント」として内容のまとめが示された構成となっている。(p2-3) ・ 社会科の他の分野や他の教科に関連する内容を多く取り入れた構成となっている。(p2-3, 4-5) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ミニ知識」(36)や「もっと知りたい」(21)を設け, 単元の学習を深め, 生徒の興味・関心を高めるように工夫されている。(p11, 12-13) ・ 学習内容に関連した写真が多く掲載されており, 生徒に興味・関心をもたせるように工夫されている。(p44) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 竹島問題について, 「日本固有の領土」, 「韓国の不法占拠」と記述されている。さらに特設ページで, 竹島問題の経緯と平和的解決について記述されている。(p145, 149) ・ 「もっと知りたい」で, 国民年金納付率第1位に島根県が提示されている。(p137) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 巻頭に, 「この教科書を学ぶにあたって」を掲載し, 教科書の使い方や学び方等が示されている。(p巻頭viii-xi) ・ 終章にレポートと卒業論文, ディベートへの取組を設定し, 自らの力で調べ, 考え, まとめる力を伸ばすように工夫されている。(p184-193) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学習を深めるために, 学習内容と関連する歴史上の人物が多数紹介されている。(p12-13, 40-41) ・ 憲法9条の解釈について, 4つの異なる見解が示されている。(p74-75) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各章の初めは, 歴史的分野の学習内容から入るよう工夫されている。(p2) ・ 「言語活動の充実」を踏まえ, 各章末に400字で論述する発展的学習が設けられている。(p18)

選定に必要な資料

(種目名 公民的分野)

No.4

記号	選定に必要な資料の観点						総括
	(1) 内容, 程度, 分量等	(2) 教材の選択や構成等	(3) 興味・関心を高める工夫	(4) 教科の特性, 島根県の実態や課題への適合等	(5) 発展的学習, 自学自習についての工夫	(6) その他	
R 育 鵬 社	<p>・A B判が採用されており, 図版や写真などの資料を大きく, 豊富に掲載し, 広く知識が身につくように工夫されている。(p18-19)</p> <p>・一単位時間の学習内容が, 見開き2ページに収められ, 配当時間は100時間である。(p6-8)</p>	<p>・見開きページの最初に学習課題を示し, 最後に学習のまとめとなる課題が設定されている。(p12-13)</p> <p>・巻頭の「私たちを取り巻く課題」や巻末付録①②「持続可能な社会をめざして」など豊富な写真や新聞記事が提示されている。(p巻頭1-2, 巻末1-2)</p>	<p>・巻頭の「なぜ公民を学ぶのか」では, 「自分の過去・現在・未来」シートに取り組むことにより, 公民学習と自分との関わりが示されている。(p2-5)</p> <p>・各章の導入部分の「法の入り口」「経済の入り口」等で身近な問題を取り上げ, 自分の意見を記述できるような活動が設定されている。(p44-45)</p>	<p>・竹島問題について, 「日本固有の領土」「韓国が不法に占拠」と記述されている。さらに, 地図の解説や特設ページで, 歴史的な経緯や国際司法裁判所への付託等について記述されている。また, 口絵で竹島問題を取り上げ, 「竹島の日」について, 記述されている。(表紙裏口絵11, p177-179)</p>	<p>・「やってみよう」では, それまで学んだことをもとに, 自ら考えて判断する, 説明する等の課題が設定されている。(p151)</p> <p>・「考えよう」「やってみよう」「社会科のまとめ」に取り組むことで, 今日の課題がとらえられるようになっている。(p66-67, 110-111, 209-215)</p>	<p>・「理解を深めよう」を多く設定して, 各時間の学習を深めるための資料が提示されている。(p12-13)</p> <p>・「学習に役立つウェブサイト」が提示されている。(p216)</p>	<p>・「社会科のまとめ」に取り組むことで, ディベートやプレゼンテーション, レポートの書き方などのスキルが身につくように配慮されている。(p209-215)</p>